

# 令和5年度ホタテガイ採苗情報（第10報）

令和5年7月3日

発行：岩手県水産技術センター

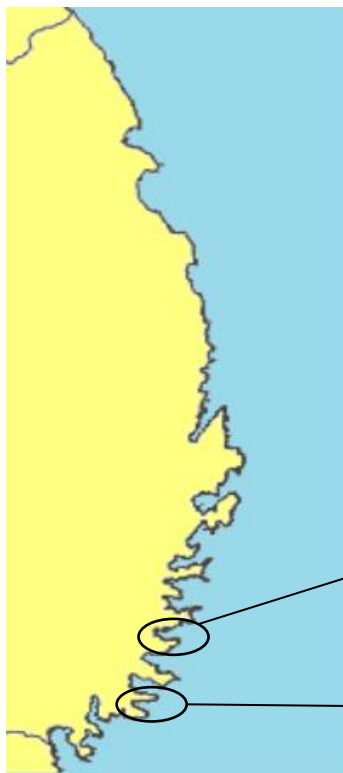
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



唐丹湾ではホタテガイのラーバは減少傾向、稚貝の付着数は継続して増加傾向です。

## < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は14.4℃で、透明度は9.0mでしたが、表面（0m深）の水温は18.4度と高くなってきています。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが55個/m<sup>3</sup>、200μm以上の大型のラーバが9個/m<sup>3</sup>出現し、大型のラーバが出現する割合もラーバ全体の出現量も減少傾向が続いています。
- 唐丹湾ではホタテガイ付着稚貝が249個/袋（採苗器7日間垂下）確認され、そのうち付着直後と思われる稚貝は少なく、周縁殻が大きく広がった500μm前後の稚貝が大半を占めており、稚貝の付着は継続して増加傾向です。
- 小型のホタテガイラーバは出現しているので、採苗器への稚貝の付着は今後も継続すると考えられます。



唐丹	6/28	14.4℃
		55個/m <sup>3</sup> 9個/m <sup>3</sup>
	6/21~6/28	249個/袋
綾里湾	-/-	-℃
		-個/m <sup>3</sup> -個/m <sup>3</sup>
	6/21~6/28	230個/袋

調査点	調査日	水深10m層水温
		ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
		試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果  
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、7月7日頃に  
発行する予定です。

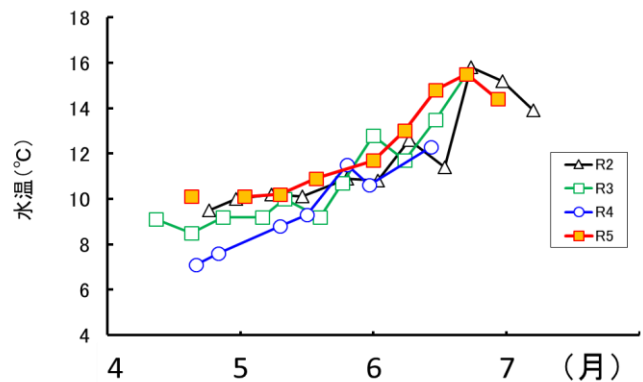


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

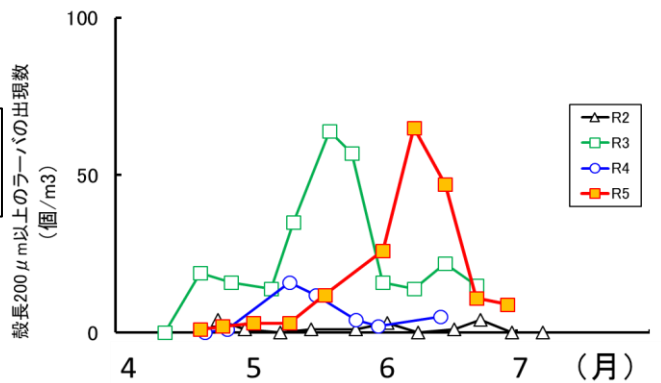


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

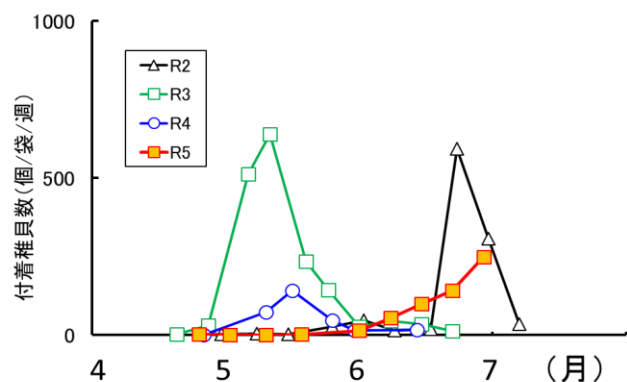


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数